



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月8日

上場会社名 大同メタル工業株式会社  
コード番号 7245 URL <https://www.daidometal.com/jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 判治 誠吾

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画ユニット長 (氏名) 籠原 幸彦

TEL 052-205-1400

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	33,215	10.8	1,389	55.4	1,352	59.2	467	175.2
2024年3月期第1四半期	29,979	8.7	894	60.5	849	30.4	169	167.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,152百万円 (35.2%) 2024年3月期第1四半期 1,591百万円 (32.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	9.91	
2024年3月期第1四半期	3.60	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	191,977	80,184	36.5
2024年3月期	188,369	78,721	36.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 70,017百万円 2024年3月期 68,820百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		2.00		13.00	15.00
2025年3月期(予想)		7.00		8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,000	2.6	2,400	8.6	2,300	3.9	1,000	62.5	21.21
通期	131,000	1.8	6,000	1.4	5,700	2.2	2,500	2.7	53.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	47,520,253 株	2024年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	395,111 株	2024年3月期	385,061 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	47,131,014 株	2024年3月期1Q	47,124,225 株

(注) 当社は、取締役及び執行役員向けに、信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで本日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては緩やかな回復基調にあるものの、欧米各国のインフレが加速したことによる金融引き締め政策の継続、ウクライナ・中東情勢などの地政学的リスクや中国経済の減速などの影響を受け、不安定な状況が続いています。

わが国経済においては、経済活動の正常化を背景に個人消費の緩やかな回復が見られ、設備投資についても底堅い需要に支えられております。一方で、急速な為替変動、人件費や物流コスト増加などに伴う物価高の影響もあり、先行き不透明な状況で推移しています。

このような市場環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、北米の自動車業界における順調な需要回復により、自動車用エンジン軸受、アルミダイカスト製品や精密金属加工部品の受注増や為替の円安影響を受け、売上高は332億15百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

利益面につきましては、継続的な原価改善活動や販売価格の調整による利益改善などが寄与し、営業利益は13億89百万円（同55.4%増）となりました。また、経常利益は13億52百万円（同59.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億67百万円（同175.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）③報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## ① 自動車用エンジン軸受

日本国内の当第1四半期連結累計期間の新車販売台数は、前年同四半期のコロナ禍の影響を受けた大きな落ち込みからの反動によりすでに高い水準であったことで、前年同四半期に比べ、6.8%減少しました。海外は米国が前年同四半期比5.1%、欧州は同8.9%、中国も同10.6%増加しました。

そのような状況下、当社グループの国内の売上高は前年同四半期比ではほぼ横ばい、海外は主に北米の需要が順調に回復していることや為替の円安影響を受け同約14%増加したことから、当セグメントの売上高は前年同四半期比8.0%増収の179億41百万円、セグメント利益は同14.8%増益の22億85百万円となりました。

## ② 自動車用エンジン以外軸受

タイでは金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる影響を受けたものの、中国の堅調な需要環境に伴う受注増や為替の円安影響もあり、売上高は前年同四半期比4.2%増収の51億42百万円となりました。セグメント利益は同2.9%減益の6億72百万円となりました。

## ③ 非自動車用軸受

## ・大型船舶

海上荷動き量の拡大基調に伴い、新造船の発注も回復傾向にあることから、2024年6月末の手持ち工事量は3,025万総トンと前年同四半期末と比べ35.4%増となりました。徐々にコンテナ船需要は一服もLNG船(液化天然ガス運搬用)、自動車運搬船やばら積み船の需要増加や継続的な中国市場の開拓に伴う受注増により、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

## ・建設機械/中小型船舶/産業用発電機他

建設機械用サービスパーツは在庫調整などによる受注減となるも組付の需要は堅調、船舶用補機や発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の受注増により、売上高は前年同四半期に比べ、増収となりました。

・電力エネルギー/産業用コンプレッサー他

水力発電のスポット案件増加、設備向けのコンプレッサーやポンプ用軸受は堅調な需要に支えられましたが、蒸気タービン用軸受の一部で在庫調整などに伴う減少により、売上高は前年同四半期に比べ、減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比7.7%増収の41億50百万円、セグメント利益は同22.9%増益の8億51百万円となりました。

④ 自動車用軸受以外部品

・アルミダイカスト製品

タイの自動車業界については、金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などの影響により、前年同四半期に比べ、国内生産は16.1%減少しております。当社においては、タイの工場（DMキャストینگテクノロジー（タイ）Co., Ltd.）における受注価格調整の効果による影響や北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増により、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。セグメント利益については、生産管理体制や工程の見直し、販売先との受注価格調整等による利益改善が寄与し、前年同四半期に比べ改善しました。

・精密金属加工部品（曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品）

北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増により、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増収となりました。セグメント利益については増収に伴う影響により前年同四半期に比べ改善しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比29.8%増収の58億円、セグメント損失は5億64百万円（前年同四半期はセグメント損失7億25百万円）となりました。

⑤ その他

金属系無潤滑軸受はスポット受注の増加はあったものの、ポンプ関連製品事業では新型コロナウイルス感染症明けに加速した需要が一服した影響による受注減により、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート及び不動産賃貸事業等の当セグメントの売上高は前年同四半期比11.6%減収の5億85百万円、セグメント利益は同8.4%減益の83百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は1,919億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億7百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産、原材料及び貯蔵品、商品及び製品が増加したことによります。

流動資産は1,039億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億37百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が減少した一方、原材料及び貯蔵品、商品及び製品が増加したことによります。

固定資産は879億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億69百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が増加したことによります。

負債につきましては1,117億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億45百万円増加いたしました。これは主に流動負債のその他が増加したことによります。

純資産は801億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億62百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が増加したことによります。

自己資本比率は前連結会計年度末と同様の36.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、26億72百万円の収入となりました。これは主に、減価償却費による収入23億24百万円、その他の負債の増加による収入21億91百万円、法人税等の支払による支出10億75百万円、棚卸資産の増加による支出10億43百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、30億89百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出29億86百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、20億89百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出25億5百万円によります。

以上により、当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は220億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億68百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表した予想値に変更はありません。

前提為替レートは、1USドル/146円、1ユーロ/159円としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,956	28,433
受取手形及び売掛金	29,474	29,913
電子記録債権	3,199	3,052
商品及び製品	16,816	17,322
仕掛品	11,720	12,205
原材料及び貯蔵品	8,815	9,640
その他	2,650	3,502
貸倒引当金	△85	△82
流動資産合計	103,549	103,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,330	16,500
機械装置及び運搬具（純額）	22,997	22,579
その他（純額）	17,537	20,590
有形固定資産合計	56,865	59,670
無形固定資産		
のれん	4,070	4,023
その他	5,314	5,291
無形固定資産合計	9,384	9,315
投資その他の資産		
投資その他の資産	18,613	19,049
貸倒引当金	△43	△44
投資その他の資産合計	18,570	19,004
固定資産合計	84,820	87,990
資産合計	188,369	191,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,083	9,537
電子記録債務	11,960	11,975
短期借入金	32,487	33,454
1年内返済予定の長期借入金	7,739	6,565
未払法人税等	1,488	990
賞与引当金	1,778	781
役員賞与引当金	103	14
製品補償引当金	68	102
営業外電子記録債務	672	1,184
その他	9,087	11,188
流動負債合計	74,468	75,795
固定負債		
長期借入金	21,088	21,822
株式給付引当金	83	84
役員株式給付引当金	58	54
退職給付に係る負債	7,796	7,963
資産除去債務	17	17
その他	6,134	6,054
固定負債合計	35,179	35,998
負債合計	109,647	111,793
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	36,549	36,399
自己株式	△291	△297
株主資本合計	57,786	57,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,615	1,639
為替換算調整勘定	6,418	7,778
退職給付に係る調整累計額	2,999	2,968
その他の包括利益累計額合計	11,033	12,387
非支配株主持分	9,901	10,166
純資産合計	78,721	80,184
負債純資産合計	188,369	191,977

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	29,979	33,215
売上原価	23,161	25,289
売上総利益	6,818	7,926
販売費及び一般管理費	5,923	6,536
営業利益	894	1,389
営業外収益		
受取利息	46	80
受取配当金	69	79
為替差益	107	173
持分法による投資利益	38	43
その他	96	52
営業外収益合計	359	428
営業外費用		
支払利息	375	427
その他	28	39
営業外費用合計	404	466
経常利益	849	1,352
税金等調整前四半期純利益	849	1,352
法人税、住民税及び事業税	486	673
法人税等調整額	△10	34
法人税等合計	476	707
四半期純利益	373	644
非支配株主に帰属する四半期純利益	203	177
親会社株主に帰属する四半期純利益	169	467

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	373	644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	422	28
為替換算調整勘定	732	1,415
退職給付に係る調整額	3	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	58	94
その他の包括利益合計	1,217	1,507
四半期包括利益	1,591	2,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,238	1,821
非支配株主に係る四半期包括利益	353	330

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	849	1,352
減価償却費	2,339	2,324
のれん償却額	191	199
持分法による投資損益 (△は益)	△38	△43
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△609	△997
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△89
退職給付に係る資産負債の増減額	△110	△132
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	9	1
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	△4
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△161	-
受取利息及び受取配当金	△116	△160
支払利息	375	427
売上債権の増減額 (△は増加)	△19	541
棚卸資産の増減額 (△は増加)	169	△1,043
仕入債務の増減額 (△は減少)	659	△155
未払消費税等の増減額 (△は減少)	243	△86
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,154	2,191
その他	478	△363
小計	5,414	3,957
利息及び配当金の受取額	108	142
利息の支払額	△345	△352
法人税等の支払額	△354	△1,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,823	2,672

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△428	△844
定期預金の払戻による収入	198	836
投資有価証券の取得による支出	△11	△14
有形固定資産の取得による支出	△1,463	△2,986
無形固定資産の取得による支出	△18	△108
貸付けによる支出	△207	△119
貸付金の回収による収入	94	161
その他	161	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,674	△3,089
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,350	△418
長期借入れによる収入	5,000	1,900
長期借入金の返済による支出	△792	△2,505
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△142	△118
自己株式の取得による支出	△0	△6
自己株式の処分による収入	0	-
配当金の支払額	△90	△593
非支配株主への配当金の支払額	△197	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,427	△2,089
現金及び現金同等物に係る換算差額	△329	△61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,247	△2,568
現金及び現金同等物の期首残高	18,955	24,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,202	22,018

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[ 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) ]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,411	4,880	3,852	4,351	29,495	483	29,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	194	55	—	116	366	178	545
計	16,606	4,936	3,852	4,467	29,862	662	30,525
セグメント利益 又は損失 (△)	1,991	693	693	△725	2,652	91	2,743

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,652
「その他」の区分の利益	91
セグメント間取引消去	1
全社費用 (注)	△1,850
四半期連結損益計算書の営業利益	894

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日） ]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,787	5,083	4,143	5,777	32,791	424	33,215
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	59	6	23	243	161	405
計	17,941	5,142	4,150	5,800	33,035	585	33,620
セグメント利益 又は損失 (△)	2,285	672	851	△564	3,245	83	3,328

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,245
「その他」の区分の利益	83
セグメント間取引消去	1
全社費用 (注)	△1,940
四半期連結損益計算書の営業利益	1,389

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ③ 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「自動車用エンジン軸受」事業の一部を当社グループ内の事業管理区分の見直しに伴い「非自動車用軸受」事業に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。